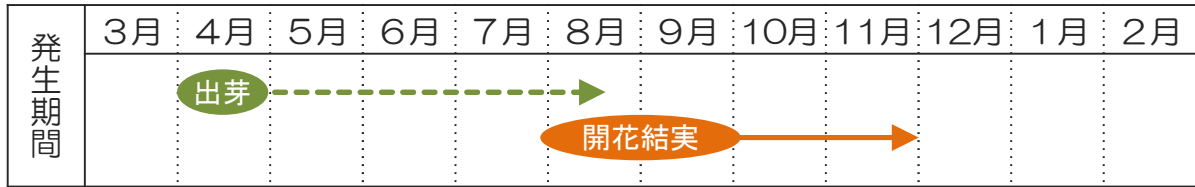


帰化アサガオ類

ヒルガオ科，一年生



大豆に絡みついて全国的に大きな被害をもたらしている。本県のは場では、マメアサガオ、ホシアサガオ、(マルバ)アメリカアサガオ、マルバアサガオがみられ、2018年にはは場周縁部でマルバルコウが確認された。



形態的特徴	いわゆる「アサガオ」である。種毎に葉や花などに特徴があるが、生育初期に識別するのは難しい場合も多い。詳細は次項参照。
生態的特徴	<ul style="list-style-type: none"> • 種子が大きく、出芽深度が大きく、出芽期間が長い。 • 大豆に絡みつきながら生育する。 • マメアサガオ、ホシアサガオは他の種に比べて耐湿性が強い。
化学的防除法	<ul style="list-style-type: none"> • 土壌処理剤：一般に効果は低いですが、フルミオWDGの効果は比較的高い。 • 大豆バサグラン液剤(全面)・アタックショット乳剤：マルバルコウを除いて効果は低いですが、幼植物には一定の効果があるので、可能な限り3葉までに処理する。低日照時は大豆バサグランの効果が悪るのでアタックショット乳剤の方が効果が高い。高温時はアタックショット乳剤の効果は低下する場合がある。 * 種により効果に差がある。古川農試場内でのマメアサガオとアメリカアサガオへの試験では、両剤ともアメリカアサガオの方が効果が低い。 • 畦間・株間処理：グリホサート剤よりグルホシネート剤が有効である。つる化前に処理する。
耕種的防除法	<ul style="list-style-type: none"> • 大豆が条間を覆うまで徹底的に手取り除草を行う。 • 晩播により出芽期間を短くする。
参考	普及情報「大豆作における帰化アサガオ類に有効な土壌処理型除草剤」(普及に移す技術第90号)